

報道各社への取材の御案内

「“フルーツ王国うきは”を支える山の恵」を感じる初夏の伝統行事
第 59 回「耳納連山 山開き」～最高峰「鷹取山」に愛好家集う～

うきは市から久留米市まで約 20 km 連なる耳納連山の稜線は一直線で「屏風山」とも呼ばれる。最高峰・鷹取山での山開きが毎年 5 月の第 3 日曜に開催され、今年で 59 回目。県内外から約 150 人余りが参加予定。山頂からは、眼下に筑後平野、北には宝満山、西に背振りの山並みが望める。うきは市の牛鳴峠（うしなきとうげ）からは約 2 時間で歩ける。



- 日時 5月21日(日)午前11時から
- 会場 耳納(みのう)連山最高峰「鷹取山(たかとりさん)」山頂(標高802m)
- 内容 安全登山祈願の神事、山の歌合唱、餅まき、万歳三唱
- 主催 吉井山の会
- 問い合わせ 吉井山の会(事務局)田代博道 携帯 090-5292-0222



手前から、筑後川・筑後平野・耳納連山

耳 納 連 山

といえば…

うきは市では、フルーツを中心とした農産物のブランド化にむけ、地理的特性を学術的に調査。“フルーツ王国うきは”を支える7大自然要素“地形・気温・土壌・風・水・雨・地理”を『うきはテロワール(※)』としてまとめ、パンフレット(A4・8頁)を平成28年7月に製作した。※テロワールとは、生育地の地理、地勢、気候の特徴をさすフランス語。環境によって個性が変わりやすいぶどうが原料となるワインの特徴としてよく使われる。うきは市はフランスのワイン産地ボルドーやアルザスとよく似た日本でも非常に珍しい地質・地形を有していることもあり、市の農業をとりまく環境を『うきはテロワール』と命名。

- 「うきはテロワール」7大自然要素(※下記の①、②、③、④、⑤、⑥は耳納連山との関連が強い)
- ※① 地形「**耳納連山と扇状地**」… 水はけと保水性を両立した農業に優しい地形
 - ※② 気温「**絶妙な温度バランス**」… **逆転層**と呼ばれる気象現象による絶妙な温度バランス
 - ※③ 土壌「**作物が健全に育つ土地**」… **扇状地**は排水が良好で、深部の根まで呼吸が容易
 - ※④ 風「**心地よい山部のそよ風**」… **耳納連山**北側は最大風速が小さく微風地帯
 - ※⑤ 水「**豊富なうきはの恵水(めぐみ)**」… **ミネラル分**を含んだ美味しい水
 - ※⑥ 雨「**るり色の雨による水分補給**」… **適度な夕立**で、果樹の水分補給と暑さの調整可能
 - ⑦ 地理「**筑紫の玄関**」… 筑後川が筑紫平野に流れ込む玄関口。地理的に都市圏に近い

編集：うきは市総務課広報係(Tel.0943-75-4980)係長・瀧内宏治、重富結人(瀧内・携帯090-7454-6381)

※FAXを手にとられた方は、「うきは市ホームページ」掲載のカラー版を御覧ください→検索 **うきはブランド通信**

2017.5.19 発表／第59回「耳納連山 山開き」～最高峰「鷹取山」(802m)に愛好家集う～